

**2019年度
事業報告及び計算書類**

2019年4月 1日から

2020年3月31日まで

**一般財団法人
長岡花火財団**

—目 次—

1. 2019年度事業報告	2
2. 2019年度計算書類	11

2019年度 事業報告

一般財団法人長岡花火財団

2019年度 事業報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

≪職務執行状況の報告≫

2019年度の花火大会は、金土の週末開催であったことや天候にも恵まれたことから、過去最高の108万人の入込数となり、非常に多くの方々から長岡花火を観てもらうことができた。

また、週末開催に伴い、例年以上の人出が予想されたことから、特に安全対策や交通対策に注力し、結果、過去最高の人出に対しても安全安心に大会を運営できたことは、今後の大会運営の大きな糧となった。

年間を通した長岡花火プロモーション活動では、米百俵フェスは台風の影響で、ホノルルフェスティバルは新型コロナウイルスの影響で残念ながら中止となったが、海外から多くの音楽アーティストが集まったアフィニス音楽祭や冬のウインターファンタジー、雪しか祭りなどで長岡花火を打ち上げたほか、市内外のイベントでのPR活動により、長岡花火を広く発信することができた。

長岡花火オフィシャルパートナー協定においては、新たに締結した企業を含め、22社に増え、様々な業種業態から支援をもらいながら、長岡花火のブランディングを展開した。

2020年の花火大会は残念ながら中止となるが、2021年の開催に向け、今からしっかりと準備を進めて行く。

理事長 高見 真二

1 長岡まつり大花火大会の企画・運営

(1) 2019年度長岡まつり大花火大会の開催結果

- ・2019年8月2日(金曜日)、3日(土曜日)
- ・観覧客数 8月2日52万人 3日56万人 計108万人 前年比4万人増
- ・大型花火台数 各日39台 計78台(2018年度より各日1台増)

(2) 主な花火の内容

- ・冒頭のナイアガラ超大型スターメインは、米フェス公式テーマソング「輝き」を初使用。子どもたちの歌声に合わせて打ち上げ、好評を博した。
- ・15回目を迎えたフェニックス花火は、これまで多くの人に支えられて続けてこられたことに対する「感謝の想い」を込め、次世代を担う若手の各団体と連携、協議しながら構成し打ち上げた。
- ・天地人花火、花火「この空の花」、花火「故郷はひとつ」、米百俵花火尺玉 100 連発は、長岡ゆかりの音楽で打ち上げた。

(3)安全対策の内容

- ・過去最高の来場者数を記録したが、警察、警備員、市職員等が一丸となり、会場内外の安全対策の徹底や交通渋滞の解消など、花火客の安全確保を最優先とする取り組みにより、大きな事故なく開催することができた。
- ・民間警備員は2日間で約1,600人、市案内誘導員約800人の動員に加え、警察、消防、JR長岡駅等、総勢約4,000名体制による安全対策を実施し、スムーズ、かつ適切な安全広報・誘導を図った。

(4)交通対策の内容

- ・交通規制エリア内外での違法駐車や住宅前の違法駐輪が目立ち、周辺住民からの苦情が多数寄せられた。今後は、臨時駐車場の増設、住宅前の駐輪対策を検討していく必要がある。
- ・観客輸送バスの利用者は、全4路線合計で過去最高となった。
- ・シャトルバス発着場となった越後丘陵公園駐車場では、駐車台数の上限を超える車が来場したため、今後周辺道路を含め対応策が必要である。
- ・駐車場予約サービスとなる「長岡花火駐車場シェアプロジェクト」を実施した。公式・民間提供含め2日間で計4,700台登録があり、駐車場不足解消に一定の効果があつた。また同サービスを利用した公式駐車場予約は全国の花火大会として日本初であつた。
(新規)

(5)広報対策の内容

- ・長岡花火公式アプリは、今年からマップ機能の追加により、トイレや喫煙所等の位置をアイコンで表示できるようになったほか、当日の駐車場満車状況や無料席の埋まり状況をリアルタイムで分かるように改善した。また、プッシュ通知の種類をジャンル分けすることにより、観覧客が求める情報をより最適な形で発信できるようになった。
- ・2日間ともにテレビの生中継により、全国に発信を行った。
2日：NHKBSプレミアム、NCT（Jcom連携）
3日：BS-日テレ、NCT（Jcom連携）
- ・「かこパッド」をアオーレ長岡シアターで上映し、来岡する花火客に対し、長岡花火に込められた想いの伝承活動を図った。
- ・地方紙、情報誌、TV、ラジオでの広報活動に加え、パブリシティを活用した効果的な花火情報の発信を図った。

(6)外国人観光客に対する対応

- ・英語と中国語の通訳ボランティアを拡充した配置（英語27人 中国語11人 計38人）や外国人向けの指差し会話シートの配備により、外国人に対してより効果的な案内誘導を図った。
- ・長岡花火公式ウェブサイトの外国人専用ページ（英語）を立ち上げ、自動翻訳ではない伝わりやすい翻訳とした。

状 況 写 真

花火打ち上げの様子(2019 フェニックス花火)



B会場 無料席開放直前の様子(8/3 11:00)



通訳ボランティアの様子(8/2 14:30)



長岡駅前方面別動線の様子(8/3 21:50)



2 長岡の誇りを伝える活動

(1) 学校等への訪問活動

① 統一コンテンツの活用

- ・次世代を担う子どもたちへ、長岡まつりの起源を伝えるとともに、長岡花火に込められた想いを通して長岡に誇りを持ってもらうため、関係団体と共同で作成した長岡花火アニメーション(かこパッド)を活用し、小中学校への長岡花火普及啓発活動を行った。

・2019年度財団実績：8校252人 各3団体154人 計406人

・フェニックスボランティア部会実績：23校1,716人

② ボランティア活動を通じた人材育成の強化

- ・フェニックスボランティアを中心に、フェニックス花火の募金や長岡花火の普及・啓発活動などを通じて、ボランティア人材の育成を行った。

・2019フェニックス花火協賛金 10,354,064円

(2) 長岡花火ブランド発信拠点の活用

長岡花火情報の発信拠点

- ・アオーレ長岡シアター入口に新たに、「長岡花火情報室」を設置し、花火玉や打上筒の展示を行い、NPO法人ネットワークフェニックスと連携協力しながら、長岡花火の歴史等の普及啓発を行った。
- ・隣接のアオーレシアターで映像コンテンツの上映を行った。
- ・2019年アオーレシアター利用者数 15,853人

長岡花火普及啓発活動の様子



(川崎小学校)



(千手小学校)

(3) 米百俵未来塾「私の花火打ち上げ開始でございます！プロジェクト」(新規)

- ・米百俵未来塾の第7回目の講座を担当し、長岡花火の歴史や長岡花火に込められた想いを普及啓発したのち、実際に長岡花火を打ち上げている花火師の指導のもとで、パソコンの花火デザインソフトを使用してオリジナル花火を塾生たちに作成させた。

2019年11月2日(土) 14:00~17:00

参加塾生 40人

3 長岡花火ブランドの全国・世界発信

(1) メディア等との連携による発信強化

メディアを通じたPR

- ・大花火大会の全国生中継を軸に、ラジオ、雑誌等を活用したメディアミックスによる情報発信を通年で行った。
- ・生放送 2日：BSプレミアム (BS4K、BS8K 同時放送)、NCT (同時ネット配信)
3日：BS-日テレ、NCT (同時ネット配信)
- ・スマートフォン専用の長岡花火公式アプリを配信し、花火プログラムや交通情報、花火会場マップなどの掲載のほか、プッシュ通知によりリアルタイムで情報を配信した。花火大会両日で11万人以上が同アプリを利用した。

(2) 海外でのブランド発信の推進

- ・2020年3月8日(日)にホノルルフェスティバルにて長岡花火の打ち上げを予定していたが、新型コロナウイルスの影響で長岡花火打上げは中止となり、ホノルルフェスティバル自体も中止となった。

(3) 長岡花火の拡大展開

① 米百俵フェスティバルでの長岡花火打上事業

- ・2019年10月12日(土)～13日(日)にて音楽フェスのフィナーレに、米百俵フェスオリジナル超大型スターマイン「輝き」等を打ち上げる予定であったが台風19号の影響で中止となり花火打上げも中止となった。

② 長岡花火ウインターファンタジー (3回目)

- ・国営越後丘陵公園の「ウインターイルミネーション」と、「長岡花火」をコラボレーションし、冬季における長岡花火の打ち上げを実施した。
- ・花火は6演目30分間。オープニングイベントとして花火師の解説付きで花火を打上げ。

2019年11月30日(土) 17:00～18:00

観覧者数 10,000人

③ 長岡雪しか祭り (長岡花火・雪花火)

メッセージ花火4台、スペシャルワイドスターマイン2台 計6台

2020年2月15日(土) 18:00～18:20 (参考:雪しか祭り来場者数45,000人)

④ 他イベントにおける長岡花火の発信 (新規)

- ・NAGAOKA未来創造博 (8月10日(土)、11日(日) 12:00～20:30)
(参考:来場者数2日間で7,000人 花火打上げ20:00～)
- ・アフィニス夏の音楽祭2019長岡 (8月20日(火)～25日(日) 6日間)
(参考:歓迎レセプション(145人)の行われる前日19日20:00～打上げ)

⑤ 地域の花火大会と長岡花火の一体となったプロモーション

- ・寺泊港まつり海上大花火大会 (8月7日(水) 19:30～21:00)
米百俵花火「空を見上げてごらん」の打上げ
- ・おぐに大花火大会 (8月18日(日) 19:30～21:00)
「おぐに地域の花火・フェニックス」の打上げ
- ・とちお遊雪まつり 前夜祭花火 (2月1日(土) 19:30～20:00)
スターマイン4台の打上げ
- ・えちごかわぐち雪洞火ぼたる祭 雪上花火 (2月29日(土) 18:30～18:35)
スターマイン1台の予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 若年層への訴求（新規）

①ニコニコ超会議でのブース出展

- ・長岡花火を知らない若年層に長岡花火を知ってもらうことを目的に、若者が多く参加するニコニコ超会議でブース出展し、長岡花火のVR映像を2日間で約600人に体験してもらった。
- ・日時：2019年4月27日（土） 10:00～18:00
2019年4月28日（日） 10:00～17:00
- ・会場：幕張メッセ 国際展示場（千葉県千葉市美浜区中瀬2-1）

②日芸祭でのブース出展

- ・日芸祭（日本大学芸術学部文化祭）でブースを出展し、長岡花火のVR映像を2日間で約500名に体験してもらい、多くの方から好評をいただいた。
- ・日時：2019年11月3日（日）、4日（月・祝） 両日とも10:00～18:00
- ・会場：日本大学芸術学部 江古田キャンパス（東京都練馬区旭丘2-42-1）

ウインターファンタジーでの花火打上げ



長岡雪しかまつりでの花火打上げの様子



ニコニコ超会議でのブース出展の様子



日芸祭でのブース出展の様子



4 組織力の強化

(1) リスクマネジメントの強化

① 事故リスクへの対応

- ・花火大会の規模拡大に伴い「賠償責任保険」への追加加入。（全国市長会の保険限度額 1 事故 5 億円に加え、さらに 5 億円を上乗せし、合計 10 億円へ引き上げた。）
- ・花火大会の中止・延期に備え、加入した興行中止保険の内容を充実させ、補償限度額を引き上げた。
（補償限度額：9 億 8,337 万 7 千円）

(2) 経営基盤の強化

自主財源の調達制度の構築

- ・年間を通して長岡花火を応援する企業団体と「長岡花火オフィシャルパートナー協定」を締結し、互いに効果を共有できる関係を構築した。（2 年目 締結企業：22 社）

(3) 人材の育成

- ・臨時職員に関する就業規程（時間外労働等）の改定を行い、より働きやすい職場環境の整備を図った。

5 理事会の開催

第 1 回 令和元年 5 月 15 日（水）

- 議題
- ・2018 年度事業報告・計算書類・附属明細書の承認について
 - ・理事候補者の決定の件
 - ・2019 年度定時評議員会の招集について
 - ・長岡花火の打ち上げ協力について

第 2 回 令和元年 5 月 30 日（木）

- 議題
- ・代表理事（理事長）選定の件（書面議決）
 - ・副理事長選定の件（書面議決）
 - ・専務理事選定の件（書面議決）
 - ・常務理事選定の件（書面議決）

第 3 回 令和元年 7 月 4 日（木）

- 議題
- ・報告事項：今年度の長岡まつり大花火大会について
 - ・報告事項：大花火大会までの主なスケジュールについて
 - ・報告事項：長岡花火オフィシャルパートナー【新規】について
 - ・報告事項：新潟アルビレックス BB との連携について
 - ・報告事項：今年度のウィンターファンタジーについて

第4回 令和元年10月3日（木）

- 議題
- ・長岡花火チケット販売検討委員会の立ち上げについて
 - ・花火協賛額及び花火種類（規模標記）の改定について
 - ・報告事項：長岡まつり大花火大会実施報告
 - ・報告事項：他イベントにおける長岡花火の発信について

第5回 令和元年12月6日（金）

- 議題
- ・2020年長岡まつり大花火チケット販売方法について
 - ・花火種類（規模標記）の改定について
 - ・2020年長岡まつり大花火大会のテーマ及びポスターについて
 - ・報告事項：令和元年台風19号に係る災害復旧について
 - ・報告事項：米百俵フェス（中止）について
 - ・報告事項：長岡花火ウィンターファンタジー事業報告について
 - ・報告事項：その他長岡花火発信事業について

第6回 令和2年3月3日（火）

- 議題
- ・理事の辞任に伴う理事の選任候補者の決定について
 - ・2019年度補正予算について
 - ・2020年度事業計画（案）、予算（案）について
 - ・2019年度臨時評議員会の招集について
 - ・臨時職員就業規程の一部改正について

第7回 令和2年3月23日（月）

- 議題
- ・臨時職員就業規程の一部改正について（書面議決）

6 評議員会の開催

定時評議員会 令和元年5月30日（木）

- 議題
- ・2018年度計算書類承認について
 - ・理事の選任について
 - ・評議員の選任について
 - ・報告事項：2018年度事業報告について

臨時評議員会 令和2年3月27日（金）

- 議題
- ・理事1名選任の件（書面議決）

事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

2019年度 計算書類

一般財団法人長岡花火財団

貸借対照表

2020年 3月31日現在

一般財団法人長岡花火財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	92,586,598	63,415,348	29,171,250
未収金	32,000,000	17,954,640	14,045,360
前払費用	385,000	378,000	7,000
流動資産合計	124,971,598	81,747,988	43,223,610
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
災害等対策基金特定資産	75,000,000	75,000,000	0
特定資産合計	75,000,000	75,000,000	0
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	0	129,566	△ 129,566
その他固定資産合計	0	129,566	△ 129,566
固定資産合計	85,000,000	85,129,566	△ 129,566
資産合計	209,971,598	166,877,554	43,094,044
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	43,994,500	30,672,958	13,321,542
預り金	3,600,000	16,991	3,583,009
未払法人税等	19,651,300	20,623,600	△ 972,300
未払消費税等	1,443,300	5,384,300	△ 3,941,000
流動負債合計	68,689,100	56,697,849	11,991,251
負債合計	68,689,100	56,697,849	11,991,251
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(25,000,000)	(25,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
正味財産合計	141,282,498	110,179,705	31,102,793
負債及び正味財産合計	209,971,598	166,877,554	43,094,044

正味財産増減計算書

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

一般財団法人長岡花火財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[19,478]	[19,478]	[0]
基本財産受取利息	19,478	19,478	0
特定資産運用益	[4,243]	[3,177]	[1,066]
特定資産受取利息	4,243	3,177	1,066
事業収益	[595,117,428]	[550,514,787]	[44,602,641]
観覧席販売収益	523,780,677	505,842,027	17,938,650
駐車場協力金収益	15,997,686	12,842,846	3,154,840
各種販売収益	10,658,825	10,415,921	242,904
各種賦課金収益	1,252,861	1,413,993	△ 161,132
業務委託料収益	43,427,379	20,000,000	23,427,379
受取補助金等	[54,425,031]	[51,888,947]	[2,536,084]
受取長岡市派遣職員人件費補助金	54,425,031	51,888,947	2,536,084
受取寄付金	[1,411,919]	[2,159,360]	[△ 747,441]
受取寄付金	1,411,919	2,159,360	△ 747,441
受取協賛金	[244,448,367]	[240,084,283]	[4,364,084]
受取現金協賛金	54,714,000	49,065,258	5,648,742
受取広告協賛金	1,090,000	890,000	200,000
受取花火協賛金	176,557,500	170,447,000	6,110,500
受取フェニックス花火協賛金	10,001,264	11,848,553	△ 1,847,289
受取その他協賛金	2,085,603	7,833,472	△ 5,747,869
雑収益	[4,005,961]	[2,441,748]	[1,564,213]
受取利息	2,563	1,274	1,289
雑収益	4,003,398	2,440,474	1,562,924
経常収益計	899,432,427	847,111,780	52,320,647
(2) 経常費用			
大会運営事業費	[638,471,848]	[599,063,099]	[39,408,749]
花火打上事業費	194,799,481	194,138,359	661,122
会場設営事業費	238,440,891	231,752,864	6,688,027
安全対策事業費	84,594,205	75,554,246	9,039,959
交通対策事業費	34,644,360	30,670,888	3,973,472
観覧席販売事業費	49,778,442	46,724,730	3,053,712
寄付懇請事業費	10,775,055	10,067,400	707,655
受入体制強化事業費	25,439,414	10,154,612	15,284,802
普及啓発事業費	[5,543,955]	[3,133,647]	[2,410,308]
普及啓発イベント事業費	3,067,058	0	3,067,058
伝承活動事業費	2,476,897	3,133,647	△ 656,750
ブランド発信事業費	[101,009,646]	[90,183,364]	[10,826,282]
情報発信事業費	27,985,845	30,050,755	△ 2,064,910
海外発信事業費	41,335,333	8,880,018	32,455,315
情報発信拠点事業費	4,500,000	4,300,000	200,000

科 目	当年度	前年度	増 減
長岡花火打上プロモーション事業費	27,188,468	46,952,591	△ 19,764,123
その他プロモーション事業費	[13,161,886]	[7,935,468]	[5,226,418]
その他プロモーション事業費	13,161,886	7,935,468	5,226,418
管理費	[110,142,299]	[110,166,891]	[△ 24,592]
人件費	65,104,082	60,981,351	4,122,731
施設費	13,216,399	12,874,296	342,103
減価償却費	129,566	130,346	△ 780
その他管理費	31,692,252	36,180,898	△ 4,488,646
経常費用計	868,329,634	810,482,469	57,847,165
評価損益等調整前当期経常増減額	31,102,793	36,629,311	△ 5,526,518
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	31,102,793	36,629,311	△ 5,526,518
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	31,102,793	36,629,311	△ 5,526,518
一般正味財産期首残高	75,179,705	38,550,394	36,629,311
一般正味財産期末残高	106,282,498	75,179,705	31,102,793
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	35,000,000	35,000,000	0
指定正味財産期末残高	35,000,000	35,000,000	0
III 正味財産期末残高	141,282,498	110,179,705	31,102,793

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・総平均法による原価法によっている。ただし、償却原価法は重要性が乏しいため適用していない。

(2) 固定資産の減価償却の方法

ソフトウェア・・・・・・定額法によっている。

(3) リース取引の処理方法

リース会計基準適用初年度開始前（平成20年3月31日以前）の所有権移転外ファイナンス・リース取引並びにリース会計基準適用後（平成20年4月1日以後）の所有権移転外ファイナンス・リース取引の内、リース料総額が少額（3百万円以下）のリース取引及びリース期間1年以内のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、未経過リース料総額は、2,211,000円である。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
災害等対策基金特定資産	75,000,000	0	0	75,000,000
小 計	75,000,000	0	0	75,000,000
合 計	85,000,000	0	0	85,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	10,000,000	(10,000,000)	(0)	—
小 計	10,000,000	(10,000,000)	(0)	—
特定資産				
災害等対策基金特定資産	75,000,000	(25,000,000)	(50,000,000)	—
小 計	75,000,000	(25,000,000)	(50,000,000)	—
合 計	85,000,000	(35,000,000)	(50,000,000)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	6,114,258	6,114,258	0
合 計	6,114,258	6,114,258	0

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産 投資有価証券 新潟県平成29年度第3回公募公債(額面1千万円)	10,000,000	10,099,205	99,205
合 計	10,000,000	10,099,205	99,205

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 長岡市派遣職員 人件費補助金	長岡市	0	54,425,031	54,425,031	0	—
合 計		0	54,425,031	54,425,031	0	

計算書類の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記の 2. において記載している。
2. 引当金の明細
該当事項なし。



監 査 報 告 書

一般財団法人 長岡花火財団

理 事 長 高 見 真 二 殿

令和 2 年 5 月 12 日

一般財団法人 長岡花火財団

監 事

長津和彦



監 事

齋尾達明



私たち監事は、当法人の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度に係る事業報告、計算書類及びこれらの附属明細書の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、それぞれ理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況及び事業について報告を聴取し、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査いたしました。

さらに、上記の方法と合わせて、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について監査いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告及びその附属明細書について

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実の存在は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書について

計算書類及びその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

収支計算書

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

一般財団法人長岡花火財団

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[10,000]	[19,478]	[△ 9,478]
基本財産受取利息	10,000	19,478	△ 9,478
特定資産運用収入	[3,000]	[4,243]	[△ 1,243]
特定資産受取利息	3,000	4,243	△ 1,243
事業収入	[595,300,000]	[595,117,428]	[182,572]
観覧席販売収入	523,500,000	523,780,677	△ 280,677
駐車場協力金収入	16,000,000	15,997,686	2,314
各種販売収入	11,200,000	10,658,825	541,175
各種賦課金収入	1,100,000	1,252,861	△ 152,861
業務委託料収入	43,500,000	43,427,379	72,621
補助金等収入	[57,470,000]	[54,425,031]	[3,044,969]
長岡市派遣職員人件費補助金収入	57,470,000	54,425,031	3,044,969
寄付金収入	[1,200,000]	[1,411,919]	[△ 211,919]
寄付金収入	1,200,000	1,411,919	△ 211,919
協賛金収入	[245,400,000]	[244,448,367]	[951,633]
現金協賛金収入	55,000,000	54,714,000	286,000
広告協賛金収入	1,100,000	1,090,000	10,000
花火協賛金収入	176,600,000	176,557,500	42,500
フェニックス花火協賛金収入	10,500,000	10,001,264	498,736
その他協賛金収入	2,200,000	2,085,603	114,397
雑収入	[4,203,000]	[4,005,961]	[197,039]
受取利息収入	3,000	2,563	437
雑収入	4,200,000	4,003,398	196,602
事業活動収入計	903,586,000	899,432,427	4,153,573
2. 事業活動支出			
大会運営事業費支出	[640,200,000]	[638,471,848]	[1,728,152]
花火打上事業費支出	195,000,000	194,799,481	200,519
会場設営事業費支出	238,500,000	238,440,891	59,109
安全対策事業費支出	85,000,000	84,594,205	405,795
交通対策事業費支出	35,000,000	34,644,360	355,640
観覧席販売事業費支出	50,000,000	49,778,442	221,558
寄付懇請事業費支出	11,000,000	10,775,055	224,945
受入体制強化事業費支出	25,700,000	25,439,414	260,586
普及啓発事業費支出	[6,000,000]	[5,543,955]	[456,045]
普及啓発イベント事業費支出	3,200,000	3,067,058	132,942
伝承活動事業費支出	2,800,000	2,476,897	323,103
ブランド発信事業費支出	[110,600,000]	[101,009,646]	[9,590,354]
情報発信事業費支出	28,300,000	27,985,845	314,155
海外発信事業費支出	46,000,000	41,335,333	4,664,667
情報発信拠点事業費支出	4,500,000	4,500,000	0
長岡花火打上プロモーション事業費支出	31,800,000	27,188,468	4,611,532

科 目	予算額	決算額	差 異
その他プロモーション事業費支出	[13,200,000]	[13,161,886]	[38,114]
その他プロモーション事業費支出	13,200,000	13,161,886	38,114
管理費支出	[114,300,000]	[110,012,733]	[4,287,267]
人件費支出	69,000,000	65,104,082	3,895,918
施設費支出	13,500,000	13,216,399	283,601
その他管理費支出	31,800,000	31,692,252	107,748
事業活動支出計	884,300,000	868,200,068	16,099,932
事業活動収支差額	19,286,000	31,232,359	△ 11,946,359
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅳ 予備費支出	0		0
当期収支差額	19,286,000	31,232,359	△ 11,946,359
前期繰越収支差額	25,050,139	25,050,139	0
次期繰越収支差額	44,336,139	56,282,498	△ 11,946,359